

3月 はと・ほし・つきぐみだより

今年度も最後のお便りとなりました。子どもたちは4月の進級したての頃を振り返ると、できる事が増え、お友達との関わりも活発になり一人一人が自分の遊びに取り組んで、挑戦し、成長していく姿が沢山見られた一年でした。特につき組さんは自分達がお手本となって、月曜日の朝のお集まりでは話を聞く姿勢を自分が背筋を伸ばして座ることで後ろにいるはと・ほし組さんに教えたり、玩具の使い方やお友達との関わり方を教えてくれました。はと・ほし組はそんなつき組さんを見ながら、たくさん学びを得て自分の成長へと繋げていく姿が見られました。保護者の皆様には今年度も沢山のご協力をいただき本当にありがとうございました。来年度からも子どもたちの一人一人の活動を大切にして見守っていきたいと思います。

おわかれ会

3月17日のパッピーランチデーの後につき組さんとのお別れ会をしました。

つき組の子どもたち一人一人が自分が行く小学校と何に頑張りたいかをみんなの前で発表しました。算数を頑張りたい。勉強を頑張りたい。運動会を頑張りたいなど、自分の目標を発表してくれました。また、歌のプレゼントもしてくれました。



歌のプレゼントをしてくれたつき組さんに、ありがとうの気持ちを込めて、ほし組さんが自分で書いたメッセージと顔写真付きのメダルをプレゼントしました。もらったつき組さんも「ありがとう」と言って嬉しそうな様子でした。卒園式には、はと・ほし組さんは参加する事ができないので、一年生になるつき組さんに応援の気持ちをこめて制服を着た自分の絵を描いています。絵は卒園式の日廊下に飾る予定です。



プラスの言葉

子どもはプラスの言葉を掛けられると、自分は素敵な存在なんだ、自分は出来るんだと感じ、自己肯定感が上がり、より様々なことに挑戦しようとなります。

すごいね

すてきだね

かっこいいね

がんばったね



大好きな家族や周囲の大人からプラスの言葉を掛けられることが、子どもにとって良い影響となるので、マイナスの言葉をかけたときはプラスの言葉もかけると子どもの心が満たされて次の成長へとつないでいくことができます。